



# 草加八潮消防局

〒340-0012 TEL048-924-0119  
 草加市神明 2-2-2 FAX048-928-8338  
 ホームページ <http://soka-yashio119.jp/>

**No.2 2月号**  
 2017年



## 火災から尊い命を守ろう！

全国で発生した火災件数は年々減少傾向にあります。しかし、住宅火災によって毎年 1,000 人以上の尊い命が失われています。出火原因は、「放火」「たばこ」「コンロ」などが上位にあります。近年、電化製品による火災も増えています。みなさんの大切な命、家族、財産を守るため、改めて火の用心に努めましょう。(関連記事2面に掲載)

### 春の火災予防運動週間

3月1日から7日まで



**平成28年度防火標語**  
 消しましょう  
 その火その時  
 その場所で

### ●平成28年中災害発生件数

(平成29年1月1日現在)

区分	火災	救急	救助
草加市内	45	11,313	179
八潮市内	27	3,885	60
その他		76	0
合計	72	15,274	239

※表中数値は速報値となります。  
 ※「その他」は、東京外かく環状道路、首都高速道路、他市への応援出動が含まれます。

## 大切な命を守るために住宅用火災警報器を設置してください

住宅用火災警報器が作動したおかげで、火が発生してもすぐに気が付き、初期消火に成功したり避難に成功した事例があります。まだ未設置のご家庭は、いますぐ設置しましょう。

### 階下の住居から警報音が・・・

共同住宅2階の住人が、1階で住宅用火災警報器が鳴っていることに気づき119番に通報。迅速な通報により、被害はほやに抑えられました。

### 調理中に寝込んでしまい・・・

コンロで調理中、火を付けたまま寝込んで放置。空焚きで発生した煙を住宅用火災警報器が感知。住人はすぐに気づいてコンロの火を消したため、火災には至りませんでした。

## その住宅用火災警報器、きちんと動きますか？

火災の早期発見に効果がある住宅用火災警報器ですが、いざというときに、きちんと作動しなければ意味がありません。機器が正しく作動するよう維持管理を行ってください。

### お手入れをしましょう！

年1回を目安に、中性洗剤を浸して十分絞った布で汚れをふき取りましょう。

### 電池交換時期を確認しましょう！

電池切れの際、音や光で知らせてくれる種類もあります。定期的に点検を行い電池を交換しましょう。電池交換ができない機種もあります。その場合は、新しい機器に交換してください。

### テストをしましょう！

「ボタンを押す」「ひもを引く」などをして警報が鳴るかどうかに1回は確認しましょう。

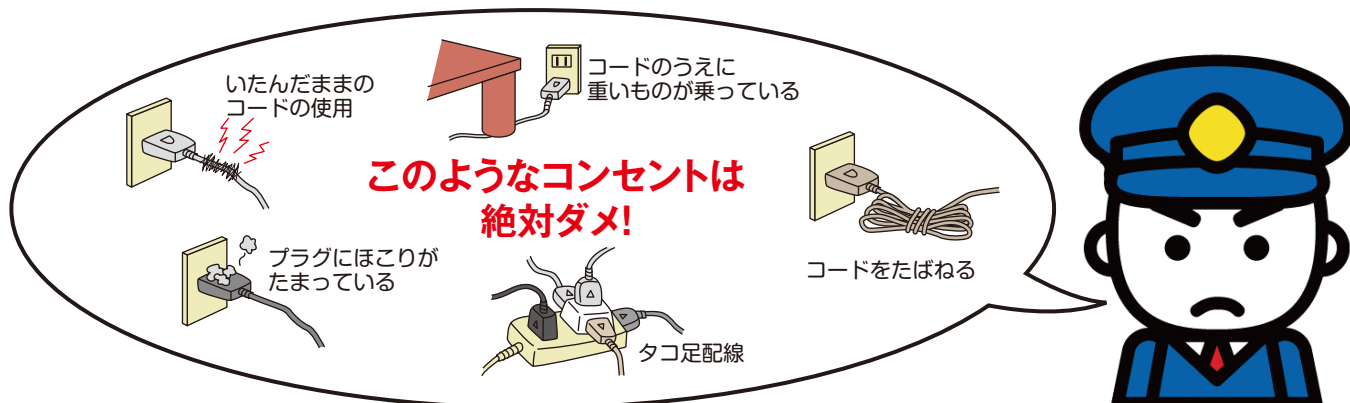
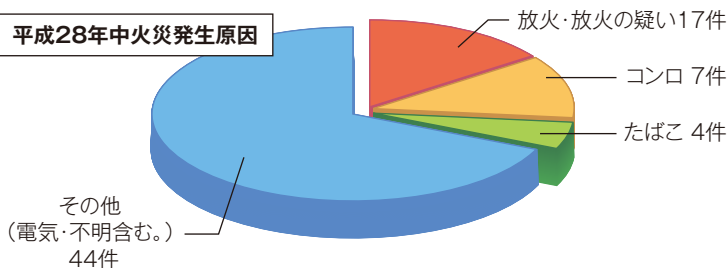
### 悪質販売にご注意ください！

火災警報器や消火器の悪質な訪問販売の被害が増えています。少しでもおかしいと思ったら、絶対に購入せず最寄りの消防署等へ連絡してください。

## 電化製品の配線にご注意を！

近年、マルチタップの不適切な使用や電化製品の誤使用、配線器具の保守点検不足などを原因とした火災が目立っています。平成28年中に管内の電気に起因する火災は16件あり、全体の約22%を占めています。ご家庭のコンセントは、差しっぱなしにせず、定期的に掃除や点検を行ってください。

平成28年中火災発生原因



## 平成28年度上半期（4月～9月）における組合財政状況

### ●歳入予算執行状況

(単位：千円)

項目	予算額	収入済額	収入率(%)
分担金及び負担金	3,259,189	1,629,610	50.0
使用料及び手数料	5,016	2,132	42.5
国庫支出金	51,770	0	0.0
財産収入	3,771	0	0.0
寄附金	1	0	0.0
繰越金	3	2	66.7
諸収入	3,750	1,879	50.1
組合債	143,500	0	0.0
合計	3,467,000	1,633,623	47.1

### ●歳出予算執行状況

(単位：千円)

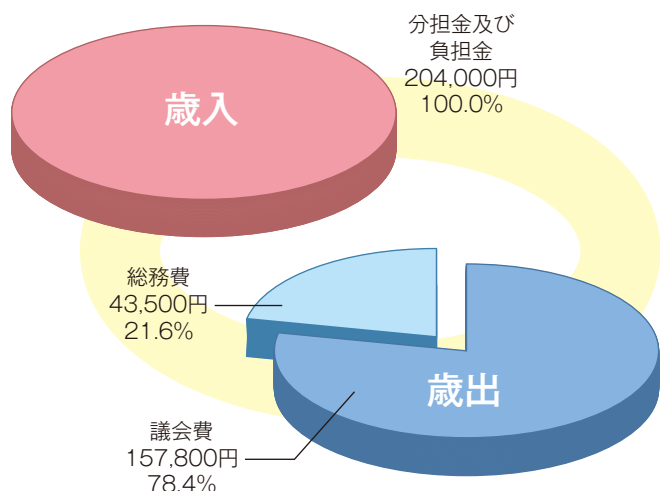
項目	予算額	支出済額	執行率(%)
議会費	1,048	129	12.3
総務費	38,043	6,047	15.9
消防費	3,422,269	1,396,662	40.8
公債費	640	0	0.0
予備費	5,000	0	0.0
合計	3,467,000	1,402,838	40.5

組合の歳入は、草加市と八潮市からの負担金（構成割合 99.8%）が主なものとなります。その他の自主財源としては、危険物関係許可等手数料や行政財産使用料、自動販売機設置場所賃借料などがあります。また、歳出は各種災害に対応するための経費として消防費（構成割合 99.6%）が主なものとなり、その他には、組合を運営する経費があります。

## 平成27年度一般会計決算

決算収支状況は次のとおりです。

項目	予算額	備考
予算額	204,000円	
歳入決算額(A)	204,000円	予算額に対する割合 100.0%
歳出決算額(B)	201,300円	予算額に対する割合 98.7%
差引残額(A)-(B)	2,700円	



平成27年度は、組合設立（平成27年10月）から翌年3月までの事務運営経費のみであったことから、ページ上段に掲載している平成28年度と比べ少額となっています。

## 第45回全国消防救助技術大会に出場しました

全国消防救助技術大会は、全国9地区から選抜された救助隊員約千名が集まり、日頃から鍛えぬいた救助技術を披露する大会です。今年度は、8月24日に愛媛県松山市で開催され、当消防局から陸上の部のロープ応



用登はん\*1、水上の部の複合検索\*2・溺者搬送\*3の3種目に5名の隊員が出場し、それぞれ入賞しました。

#### ※1 ロープ応用登はん

登はん者と補助者が2人1組で、器材を使わずに15メートルのロープを登はんする訓練です。

#### ※2 複合検索

マスク、スノーケル、フィンを着装し、スノーケリングで障害物を突破し水中に沈められたリングを検索して引き上げる訓練で、水中の行方不明者捜索を想定しています。

#### ※3 溺者搬送

救助者が要救助者を注視しながら近づき、要救助者を確保した後、髪の毛を掴んで搬送する訓練です。

## We are Fire Volunteer !

**消防団**は、火災などが発生した際、自宅や職場から駆けつけ、消火活動・救助活動を行う組織です。消防署は、常勤の職員が、常時消防業務に専念しているのに対し、消防団員は、日頃各々の職業に専念する中で、災害時には消防団員としてその対応に当たっています。消防団は、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず地域の安全を守る重要な役割を担っています。ここでは、消防団が平常時には、どのようなところで活動をしているか、その一部をご紹介します。

### 草加市消防団

草加市消防団は女性部を含めた15の部で構成されており、212名の団員を有しています。毎年1月に始式、8月に夏季訓練、11月に特別点検を実施しています。また、部ごとに定例会や担当地域の地理水利調査や放水訓練を定期的に行っています。女性部では、市内幼稚園などで、子どもたちが火災から身を守るための出前講座を開催しています。



毎年1月に開かれる「始式」



女性消防団員による危機管理教育

### 八潮市消防団

八潮市消防団は、3分団全19部で構成されており、230名の団員が日々地域の安全・安心を守っています。年間を通して、消防団員を募集しており、広報活動も積極的に行っています。毎年行われるやしお市民まつりでは、パレードに参加して、凛々しい姿を市民の方々に披露し、火災予防を呼び掛けています。



やしお市民まつりでのパレード



市内大型店舗でのPR活動

### 予防課移転のお知らせ

このたび、消防局予防課は、平成29年4月1日から八潮消防署2階において業務を行うこととなりますのでお知らせいたします。

#### 予防課が扱う主な事務

消防用設備の設置、危険物貯蔵取扱いの許認可、危険物施設、防火管理、防火広報に関すること

#### 移転先（平成29年4月1日から）

八潮消防署2階（八潮市大字鶴ヶ曾根1185番地）

☎048-996-0660 Fax048-997-1300 ※移転日前日までの問い合わせ先 048-924-2113